

www.fishman.com

FISHMAN[®]

ユーザーガイド
LOUDBOX ARTIST



ユーザーマニュアルのこのマークは、操作上の注意や保守（修理）方法についての重要な記述があることを示します。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険電圧」が存在することを意味し、感電の恐れがあることを警告しています。

警告

感電の恐れがあります。
本体を開けないでください。


内部にユーザーが交換などする部分はありません。
修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
雨、湿気にさらさないでください。

警告

接地接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

重要な安全説明

安全のため、本製品のご使用前に必ず操作上の指示や以下の注意事項をお読みください。

1. 操作上の指示をよくお読みください。
 2. この取扱説明書を大切に保管してください。
 3. 警告にご注意ください。
 4. 指示をお守りください。
 5. 本製品に水分を近づけないでください。
 6. 乾いた布で拭いてください。
 7. 換気口がふさがれないようにしてください。製造元の指示に従って設置してください。
 8. 暖房器具やその他の熱源（アンプを含む）の周辺に設置しないでください。
 9. 有極プラグまたは接地タイプのプラグは正しくご使用ください。有極プラグには幅の異なる 2 枚のブレードがあります。接地タイプのプラグには 2 枚のブレードの他に接地用のブレード（アース）がついています。幅の広いブレードまたは接地用のブレードは、安全にご使用いただくためのものです。付属のプラグがコンセントの形と合わない場合は電気技術者に相談し、コンセントを新しいものに取り替えてください。
 10. 電源コードが踏まれたり何かに挟まれたりしないようにご注意ください。特にプラグとコンセントの接続部分、装置とコードの接続部分には十分な注意を払ってください。
 11. 製造元が推奨する付属部品／アクセサリ以外のものは使用しないでください。
 12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、製造元が推奨するものか製品に付属のもの以外は使用しないでください。カート／製品を運搬する際は、けがの原因となりますので、転倒しないようご注意ください。
- 
13. 落雷の発生時や長時間使用しない場合には電源コードを抜いてください。
 14. 本製品の修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。電源コードまたはプラグが破損したり、装置の上に液体をこぼしたり、内部に何かを落としたり、装置が雨や湿気にさらされた時、乱暴な取り扱いをした時、製品が正常に作動しない時は修理が必要です。
 15. 水分が滴ったりはねたりする場所に本製品を置かないでください。液体を入れた容器（飲み物の容器や花瓶など）を本製品の上に置かないでください。
 16. 本製品を湿気にさらさないでください。火災や感電の危険があります。
 17. 本製品は安全のためにアースが装備されたコンセントに接続してください。



断路装置となる電源プラグは常に抜き差しできる状態にしておいてください。

Copyright © 2011 FISHMAN TRANSDUCERS, INC.

無断複写・転載を禁じます。

本書のいかなる部分も、FISHMAN TRANSDUCERS, INC. から事前に文書による許諾を得ることなく、無断で複製することはできません。

Loudbox Artist を使用する前に、以下の項目をお読みください。

- ◎重要な安全説明 (2 ページ)
- ◎始めましょう (5 ページ)

梱包材を保管してください

Loudbox Artist を使用する前に、この取扱説明書の「重要な安全説明」および「始めましょう」の項目をお読みください。Loudbox Artist の箱と梱包材は、出荷中にアンプを保護するために特別に設計されたものです。Loudbox Artist を発送する際に必要となる場合がありますので、保管しておくことをおすすめいたします。

重要！

Loudbox Artist アンプは、楽器の音をきわめて大きなボリュームでクリーンに鳴らすことができます。耳の防護をせずに長時間にわたり繰り返し高い音圧レベル(SPL)にさらされることは、聴力低下の原因になります。米国労働安全衛生局 (OSHA) は、SPL が高い状況で作業する人のためのガイドラインおよび騒音暴露の許容値を定めています。

騒音暴露の許容値

1 日につき (時間)	サウンドレベル (dBA) スロー・レスポンス
8	90
6	92
4	95
3	97
2	100
1 ½	102
1	105
½	110
¼ 以下	115

聴力低下を予防するため、アンプを長時間演奏する際にはイヤークッション等を使用してください。



注：リアパネルに記されたボルト数以外でアンプを作動しないでください。電源コードについている接地用のブレード (アース) は正しくお使いください。このアンプを安全に使用するためには、正しく接地する必要があります。



LOUDBOX ARTIST

本製品は連邦通信委員会(FCC)が定めた規制要件に適合しています。
家庭・オフィス用。



ようこそ

このたびは Fishman のアコースティック用製品をお選びいただき誠にありがとうございます。Fishman が提供する最高品質のアコースティック関連製品は、サウンドを引き立てるプロ仕様のツールです。

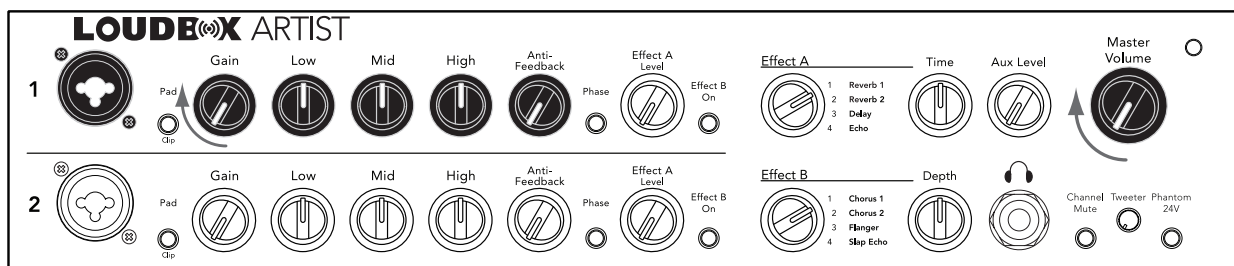


始めましょう

ここでは基本的なセットアップの方法をご紹介します。Loudbox Artist を安全に使用するため、マニュアル全体をお読みください。特に 2 ページの「重要な安全説明」は、ご使用前に必ずお読みください。

ご使用のアンプの動作電圧が 100V の場合は、付属の AC 電源コードをアンプの裏面に接続してください。

1. 電源スイッチを確認し（リアパネルの電源コード端子の上にあります）、オフ（下）にしてから、電源コードを接続します。
2. Loudbox Artist を適切な AC 電圧のコンセントに挿し込みます。
3. **【Master Volume】** を下げ、電源スイッチをオンにします。
4. 楽器を 1/4 インチ楽器用ケーブルでチャンネル 1 の入力に接続します。
5. 楽器を強く弾き、チャンネル 1 のクリップ LED（**【Pad】** ボタン中央）が点滅するまで **【Gain】** を上げてから、クリッピング LED が点滅しないところまで下げてください。
6. トーン・コントロールを下図のように「フラット」（真上、12 時）の位置にそろえます。
7. **【Mute】** スイッチを押し（黄色いライトが消えたことを確認してください）、**【Master Volume】** を少しずつお好みの設定まで上げてください。



フロントパネル

(1 ~ 10 のコントロールは両チャンネルで同様に機能します。)

1. チャンネル 1 入力

パッシブまたはアクティブのさまざまなタイプのアコースティック・ピックアップを接続できる 1/4 インチの入力です。ボーカルまたは楽器にマイクを使用する場合は、バランスマイクを XLR 入力に接続してください。

2. 10dB パッド&クリップ LED

高出力のピックアップを使用すると、ゲインのレベルを低くしていてもクリップ LED (パッド・ボタン中央) が点滅することがあります。この場合は、このスイッチを押し、ピックアップからの入力を適切なレベルにしてください。

3. ゲイン

ゲインのダイヤルを調節して楽器入力の信号レベルを設定します。

4. ロー

低音域をブーストすると、サウンドに重みがかかります。小音量ではベースをブーストし、大音量ではフラットにする (またはカットする) のが一般的です。ダイヤルを 12 時の位置に設定すると、ブーストもカットもされないフラットな状態となります。

5. ミドル

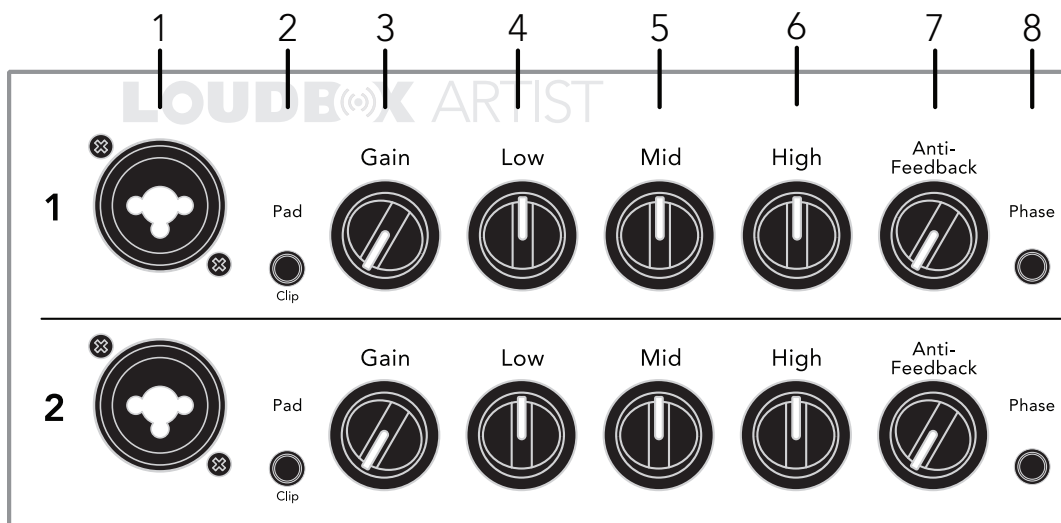
このコントロールは、ミックスの中で楽器をどのように溶け込ませるか、際立たせるかに影響を及ぼします。大音量で演奏する時は、中音域をしぼると、よりナチュラルなサウンドになります。ダイヤルを 12 時の位置に設定すると、ブーストもカットもされないフラットな状態となります。

6. ハイ

高音域の設定を上げると、楽器のサウンドに軽快さが加わります。ダイヤルを 12 時の位置に設定すると、ブーストもカットもされないフラットな状態となります。

7. アンチフィードバック

低周波のフィードバックが発生した場合は、このコントロールを回して消去してください。ハウリングについての詳細な情報は、9 ページを参照してください。



フロントパネル (つづき)

8. フェイズ (位相)

フェイズ・スイッチはアンチフィードバック・フィルタと連動してハウリングを除去します。ハウリングについての詳細な情報は、9 ページを参照してください。

9. エフェクト A レベル

入力チャンネルに加えるエフェクト A の量を調節します。

10.エフェクト B オン

このボタンが点灯している時は、入力チャンネルのオーディオはエフェクト B によって処理されています。

11.エフェクト A

エフェクト A の 4 つのエフェクトのうちの 1 つを選択します。

12.エフェクト A 「タイム」

ディレイまたはリバーブ・エフェクトの時間の長さを設定します。

13.エフェクト B

エフェクト B の 4 つのエフェクトのうちの 1 つを選択します。

14.エフェクト B 「デプス」

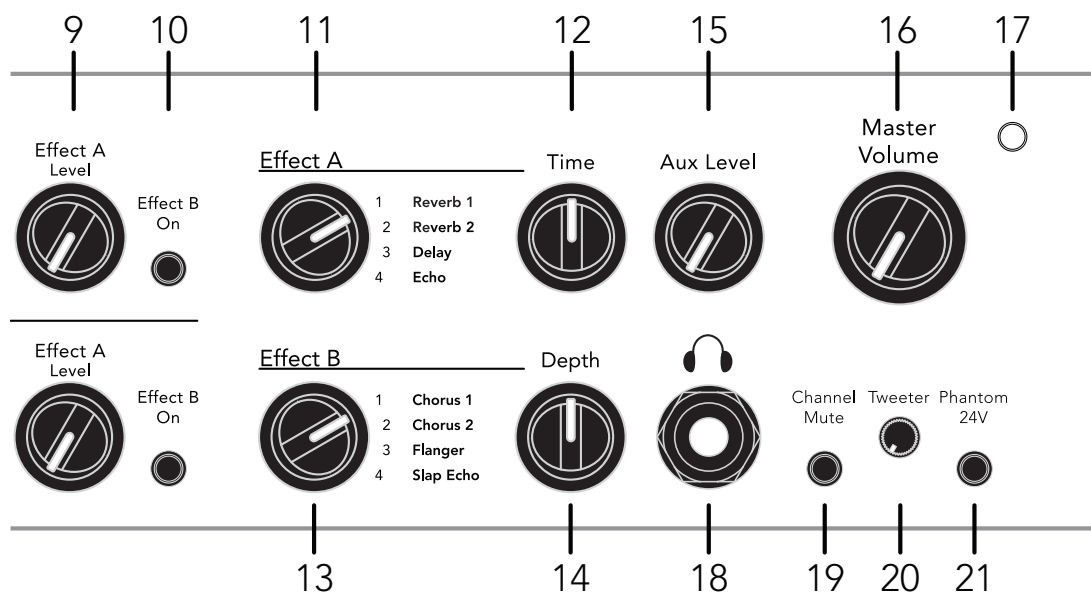
エフェクト B の強さを設定します。

15.AUX レベル

AUX 入力に接続するオーディオ機器のレベルを調節します。AUX チャンネルはミュート・スイッチから独立しているため、ギターを演奏していない時は音楽を再生することなどもできます。

16.マスターボリューム

Loudbox Artist 全体の音量を調節します。一般に、マスターボリュームをできるだけ高い設定 (2 時~5 時の方向) に設定すると、最もクリーンなサウンドになります。



フロントパネル (つづき)

17.電源

アンプの電源をオンにするとライトが点灯します。

18.ヘッドホン・ジャック

ステレオ・ヘッドホンをここに接続すると、スピーカーがオフになります。この出力はチャンネル1、チャンネル2、AUX入力をミックスしてモニタリングできるため、ヘッドホンで音楽を聞きながら演奏することもできます。

19.チャンネル・ミュート

チャンネル・ミュートは、チャンネル1およびチャンネル2からスピーカーに入力される信号や全てのXLR出力へ送られる信号を切ることができます。チャンネル・ミュートはAUX入力、エフェクト・センドには影響しません。ミュートが作動している時は、LEDが点灯します。

20.ツイーター・レベル

ツイーターの出力レベルを弱めます。お好みに合わせて調節してください。

21.ファンタム電源

各チャンネルXLR入口に、コンデンサーマイク用の24Vの電圧を供給します。ファンタム電源が作動している時は、ボタンのLEDが点灯します。

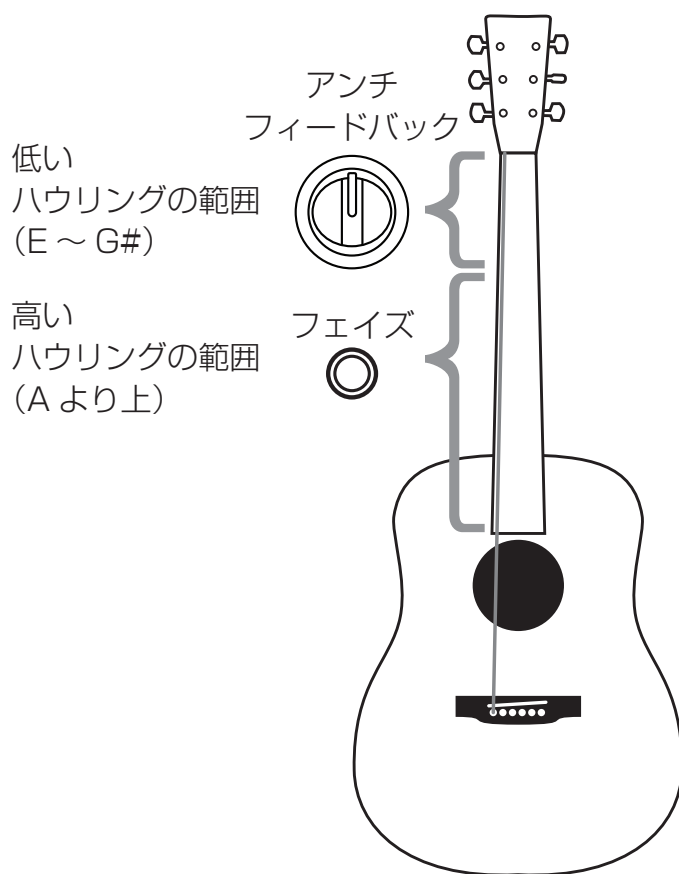
大部分のコンデンサーマイクおよびダイナミックマイク、一部のプリアンプはファンタム電源で安全に使用出来ます。

ただし、ファンタム電源は、XLR変換されたアンバランス・マイク、プリアンプ、エフェクトペダルなど一部のオーディオ機器を破損する場合があります。疑問がある場合は、製造元に適合性を確認してください。

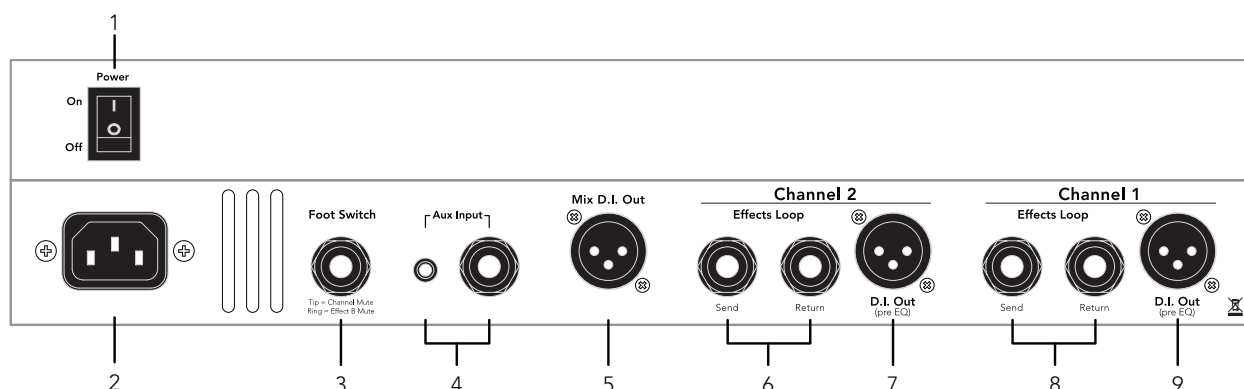
ハウリングについて

通常、ハウリングが発生するのは、楽器の最も低いオクターブ、一般には半音ほど離れた2音の間で起こります。低域のハウリング（空洞共振）は、スピーカーから出る音圧が楽器の中のエア・チェンバー（空気室）を共振させる時に起こります。楽器の空洞共振によるハウリングは、Loudbox Artistのアンチフィードバック（ノッチ・フィルター）で除去するのが効果的です。アコースティック・ギターの場合、これはローE弦（6弦）のG#、100Hzくらいで発生します。アンチフィードバックのダイヤルを11時くらいに設定して、この共振をカットしてください。この回路はダイヤルをオフ（7時）の位置にすることによって無効にできます。

高域のハウリング（トップ・レゾナンス）は、通常、楽器の空洞共振より半音か全音上から始まります。これはスピーカーから出る音圧が楽器の共鳴板の共振周波数を共振させる時に起こります。アコースティック・ギターの場合、これはローE弦（6弦）のAより上で発生します。フェイズ・スイッチをオン/オフして共振がなくなる位置を探してください。



リアパネル



1. 電源スイッチ

アンプの電源を入れる時は、マスターボリュームを下げてから電源スイッチをオン（上）にしてください。

2. AC 電源

必ずリアパネルに記載されたボルト数でアンプを作動してください。



断路装置は、AC 電源または電源スイッチです。

3. ミュート・フットスイッチ

Fishman デュアル・フットスイッチを接続し、チャンネル・ミュートおよびエフェクト B ミュートをリモートコントロールします。

4. AUX 入力 (1/4 インチ & 1/8 インチ)

CD や MP3 プレーヤーなどライン・レベルのステレオ音源を接続します。両方の入力を同時に使用することもできます。いずれもステレオ (TRS) 入力ですが、左右のシグナルはモノにミックスされます。

5. ミックス DI (ポスト)

チャンネル 1、2 両方の信号をミキシング・コンソールまたはスレーブアンプに送る時は、ここに接続します。このポスト EQ 出力は、グラウンドループによるノイズを防ぐため、グラウンドは常に絶縁されています。

リアパネル (つづき)

6. チャンネル 2 エフェクトループ (シリアル)

外部のエフェクトを接続します。標準的な 1/4 インチ楽器用ケーブルを使用し、チャンネル 2 の Send からエフェクトの入力へ、チャンネル 2 の Return からエフェクトの出力へ接続します。チャンネル 2 のループはポスト EQ で、コンパクト・タイプの電池式エフェクターに対応しています。

7. チャンネル 2 DI 出力 (プリ EQ)

ミキシング・コンソールにフラットな DI 信号を送りたい時に使用してください。このプリ EQ 出力は、グラウンドループによるノイズを防ぐため、グラウンドは常に絶縁されています。

8. チャンネル 1 エフェクトループ (シリアル)

外部のエフェクトを接続します。標準的な 1/4 インチ楽器用ケーブルを使用し、チャンネル 1 の Send からエフェクトの入力へ、チャンネル 1 の Return からエフェクトの出力へ接続します。チャンネル 1 のループはポスト EQ で、コンパクト・タイプの電池式エフェクターに対応しています。

9. チャンネル 1 DI 出力 (プリ EQ)

ミキシング・コンソールにフラットな DI 信号を送りたい時に使用してください。このプリ EQ 出力は、グラウンドループによるノイズを防ぐため、グラウンドは常に絶縁されています。

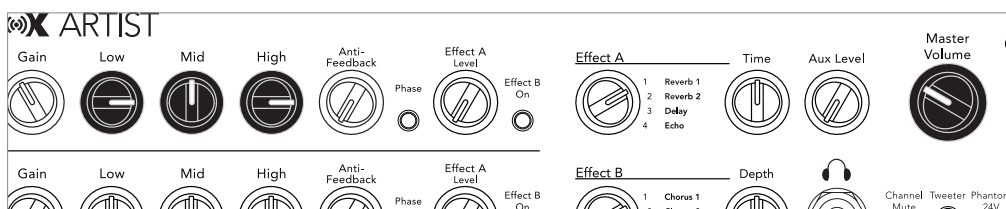
トーンについてのアドバイス

設定

最初にトーン・コントロールをフラット（真上、12時）の位置にそろえてください。この時、サウンドはイコライジングがされていません。ごく小さい音量から始め、少しずつ音量を上げながら、以下の設定例を参考に Loudbox Artist のトーン・コントロールを調節してみてください。

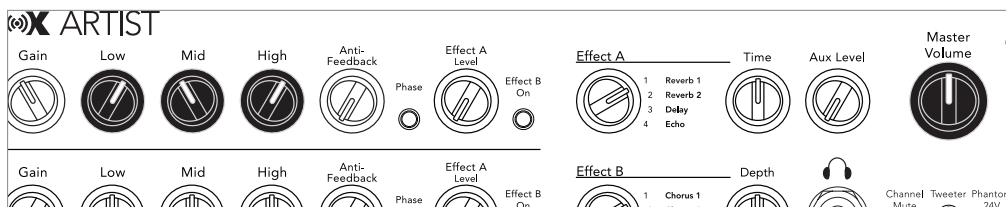
1. 小音量時

小音量（話し声より少し大きい程度）では、人間の耳は低音域と高音域にあまり敏感ではないので、「Low」および「High」のコントロールを上げてください。



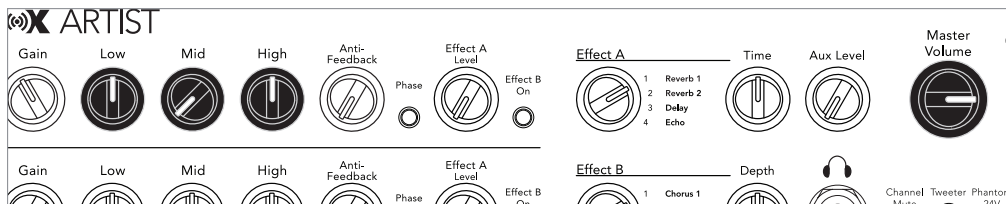
2. 中音量時

声を大きくしなければ会話ができない中程度の音量では、人間の耳は中音域にとっても敏感です。「Mid」のコントロールを 10 時の方向か好みのレベルまで下げてください。このレベルでは、低音域と高音域が他の音域と同じくらい敏感に聞き取れるようになるので、「Low」および「High」のコントロールを少し下げてもバランスのいいトーンを実現してください。

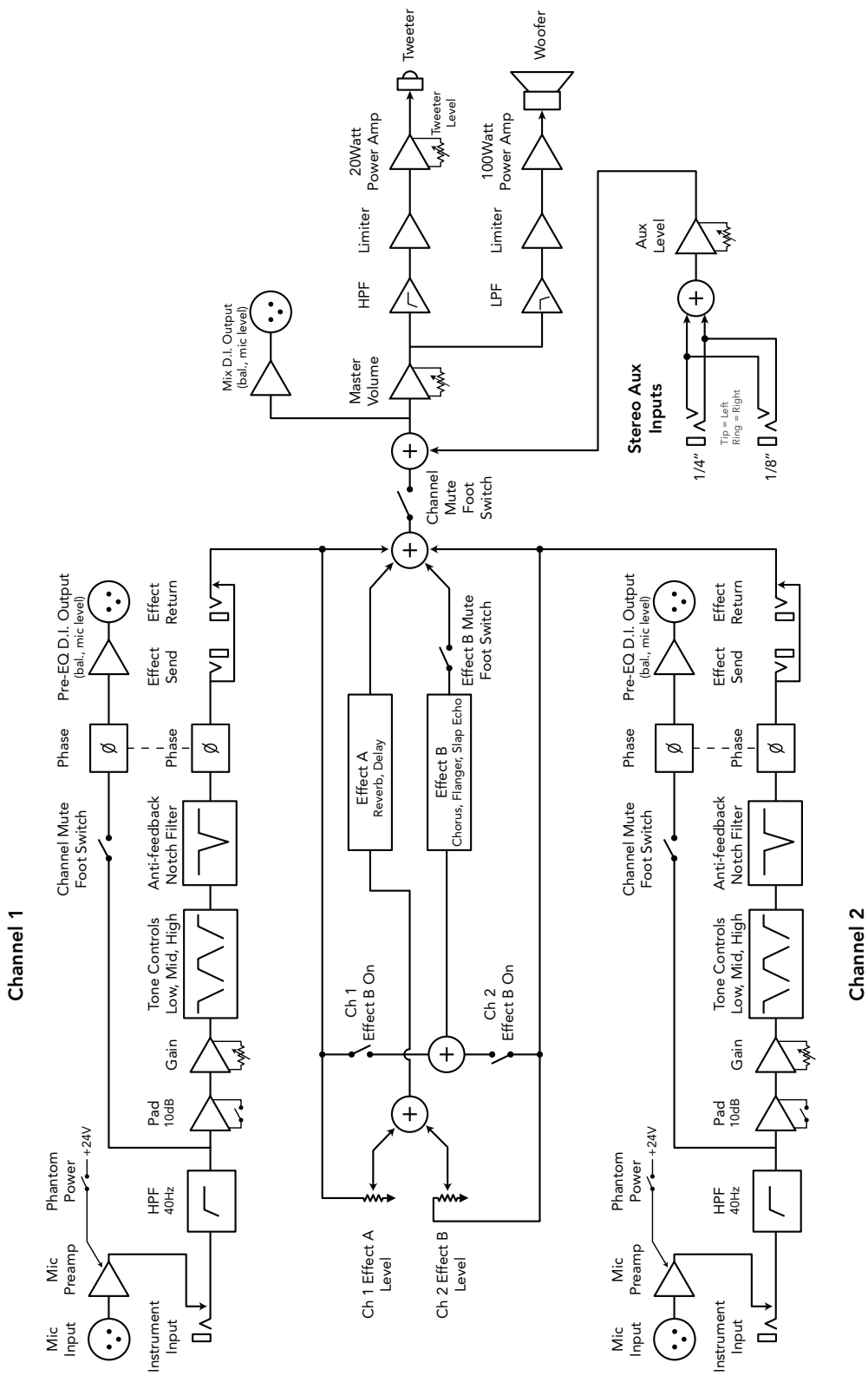


3. 大音量時

大声で叫ばなければ聞こえないくらいの大音量では、中音域の大幅なカットが効果的です。「Mid」のダイヤルを 9 時から 7 時の間に設定してください。低音域と高音域の知覚は、大音量では「頭打ち」になるため、「Low」および「High」を上げる必要はほとんどないでしょう。「Low」と「High」のダイヤルは 12 時から 1 時の間に設定してください。



ブロック図



技術仕様書

入力インピーダンス：

1/4 インチ 入力	5 M Ω
XLR 入力	2.4 k Ω 、バランス
AUX 入力 (ステレオ)	10 k Ω

ファンタム電源：

XLR 入力	24VDC / 12. k Ω DC ソース・インピーダンス、1 ピン当たり
--------	---

トーン・コントロール&アンチフィードバック：

ロー	± 12 dB @ 50 Hz (レゾナント)
ミドル	± 10.5 dB @ 750 Hz (レゾナント)
ハイ	± 12.5 dB @ 15 kHz (シェルビング)
アンチフィードバック範囲	-14 dB @ 15 Hz - 330 Hz (ハイQ・レゾナント・ノッチ)

チャンネル 1 & 2 DI 出力：

出力インピーダンス	440 Ω バランスド
	ファンタム電源耐性、グラウンド絶縁

チャンネル 1&2 エフェクト・センド：

出力インピーダンス	2.2 k Ω
作動レベル	名目 -10dBV

チャンネル 1&2 エフェクト・リターン：

入力インピーダンス	28 k Ω
入力電圧	名目 -10dBV
(センドおよびリターンは、電池式エフェクト・プロセッサに適合しています。)	

Mix DI 出力：

出力インピーダンス	600 Ω バランスド
	ファンタム電源耐性、グラウンド絶縁

技術仕様書 (つづき)

スピーカー・システム：

ウーファー	8 インチ ペーパーコーン、アコースティック・サスペンション
ツイーター	1 インチ クロスドーム、ネオジム磁石
ツイーター・レベル	最大 -6 dB
クロスオーバー	3.5 KHz (バイアンプ駆動、アクティブ・クロスオーバー)
バッフルアングル	10 度

定格出力：

累積	120 Wrms
ウーファー・アンプ	連続 100 Wrms
ツイーター・アンプ	連続 20 Wrms
APL @ 1 メートル	113 dB SPL
周波数応答	80 Hz - 20 kHz (-4dB)

電力消費： 最大 150W

ヒューズ定格： 100V、50/60 Hz : T2AL 250V
(2A スローブロー、5x20 mm)

寸法・重量

寸法	16 インチ x 15.5 インチ x 11.5 インチ (40.5 cm x 34 cm x 29 cm)
重量	25 lbs (11.3 kg)

本仕様書およびマニュアルに掲載されている内容は予告なく変更されることがあります。

www.fishman.com

FISHMAN

【禁無断転載】

FISHMAN TRANSDUCERS 総輸入代理発売元

株式会社 黒澤楽器店